



ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区

Governor Today

ガバナートゥデイ

ガバナーズローガン

変革を巻き起こせ!

2024年1月号

HAPPY
NEW
YEAR



新しい年に向けて

2023～2024年度 332-C 地区ガバナー

渡邊 俊弥 (仙台五城LC)

新年あけましておめでとうございます。

早くも今期折り返しとなり、後半に入りました。昨年中は各クラブ並びにメンバーの皆様、関係者の皆様には大変お世話になりました。今期後半も皆様のお力添えを宜しくお願い致します。

今期は「変革を巻き起こせ!」をスローガンに様々な活動に取り組んで参りました。去る12月4日(月)から食糧支援「フードパントリー」を332-C地区内4箇所で実施し、物価高の影響で困窮されているご家庭、学生の支援など、食糧を必要とされる方のため、各クラブ会員が力を合わせることができました。本当に多くの会員メンバーのご協力やご参加により「どんな立場・境遇の人であっても幸せを感じられる 社会へ」を趣旨とした事業が、成功裏に終了しましたことに改めて感謝申し上げます。

さて、これから大事な後半戦を迎えます。目標して掲げている「会員増強」「LCIF 献金へのご協力」など、さらなる基盤強化に向けて動かなければなりません。本年度も記念行事であるチャーターナイトを迎えるクラブが多くあり、中には50周年、60周年と長い歴史を繋

いできたクラブもございます。発足当初とは環境も大きく変わり、厳しい現状も見受けられたりもしますが、変わらないライオンズ精神「奉仕の心をもって」歩み続け、変革を恐れず活性化する仕組みをアクティビティ等を通して皆様とともに力を注いでまいりたいと思います。

最後に、今期の年次大会の実行委員会の第1回を1月26日に行います。年次大会の成功に向けて、大会運営の準備につきましても是非皆様のお力添えをいただきたいと存じます。

本年も各クラブの益々のご発展、メンバーの皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



ライオンズクラブ国際協会332-C地区 2023年-2024年度地区運営方針

ガバナースローガン

変革を巻き起こせ！

アクティビティスローガン

東北はひとつ!! 共に進もう友愛と相互理解の精神で!!



1. 変革とは！

※発展のために変わらなければならない

2. 「私たちは奉仕する」(We Serve)

A) 会員増強のために

- ①クラブの置かれている現状の把握（SWOT分析）
- ②会員減少を防ぐ具体的な行動計画の作成と実践

B) 新会員を増やし、クラブを若返らせる

C) あらたな奉仕活動でクラブを活性化させる

D) 次代を担うライオンの育成

E) ライオンズ活動の地域社会へのアピールを充実させる
この変革はあなたから、クラブから、ここから、いま！

3. 奉仕事業

2023-24年度末までに、地区内のクラブによる奉仕報告率を上げる

※332-C地区の85%のクラブが確実に奉仕を報告する
※各クラブで新しいアクティビティを1つ、各ゾーンで1つ奉仕事業をする

4. 会員増強

2023-24年度末までに、地区の会員数純増を達成する
※332-C地区は最低でも1の新クラブを結成し、20人のチャーターメンバーを加える。

※地区内のクラブは、既存のクラブに80人の新会員を入会させます。

※当地区は、退会者数が80人を上回らないようにする

5. GLT指導力育成

2023-24年度の第1四半期が終了するまでに、クラブ役員とZCを対象とした研修をする。GLTコーディネーターは、LEARN研修管理機能を使って全ての研修を報告する

※332-C地区は100%のZCが確実にZC研修に参加するようにする

※当地区は100%のクラブ役員（会長・幹事・会計）が確実にクラブ役員研修に参加する

※当地区は、退会者数が80人を上回らないようにする

6. LCIF

2023-24年度末までに、ライオンズクラブ国際財団（LCIF）を支援する

※私たちのチームは、地区内の個人参加率を50%、クラブ参加率を10%増やす。

※当地区の30クラブが確実に100%会員参加達成するようにする

※当地区は、シルバーレベルのLCIF理事長メダル獲得を目指します

※私たちのチームは、地区内の会員全員に50\$寄付を呼び掛ける

7. サーバントリーダーシップ (奉仕するリーダーシップ)

※地位にかかわらず、組織への奉仕を目指す

※チームのメンバーと協力する

※メンバーの手柄にする

※改善策を探す

※信頼、機会、感化を利用し、信頼関係を築き、メンバーの自主性を尊重する

※耳を傾け、口数は少ない

※チームの成功によって意欲を高める

※全員のために機会を調整し、個人のやる気を重視して、組織の成長と調和させる

※コーチング、メンタリングから部下と共に学ぶ

※責任を明確にし、失敗から学ぶ環境を作る

332-C 地区関連 1・2 月度予定表

日 程	行 事
1/23 (火)	ZC 研修会
2/3 (土)	全国アラートフォーラム2024 in 岡山
2/9 (金)	第3回キャビネット会議
2/15 (木)	公認ガイディングライオン養成講座

アクティビティレポートは
アクティビティ通信として毎月
15日にPDF 発信致します。

視覚保護支援事業 在仙台カンボジア王国名誉領事館へ訪問

2023年11月30日(木)/ 在仙台カンボジア王国名誉領事館

11月30日(木)、眼鏡リサイクルセンターより、カンボジア王国王立病院に寄付をする「奉仕眼鏡」を在仙台カンボジア王国名誉領事館へお届けに行きました。田井 進 名誉領事にお迎えいただき、王国での現状や寄付した眼鏡が、保健大臣の指揮により、王立のカルメット病院から配布されている様子等お聞きしました。

カンボジアでは、ここ数年GDPが7%を超える成長を維持しているものの、未だ貧富の差は大きく、特に子供用の眼鏡が不足しているとのこと。332-C地区からはこれまで延べ5万個を超える眼鏡が送られていますが、より積極的に活動を継続していこうと思いました。



杜の
ひろば

子どもの視力低下防ぐ

目録を手にする田井名誉領事(中央)と
渡辺ガバナー(右)

カンボジアの貧困層に届けようと、宮城県内の会員で構成するライオンスクラブ国際協会332-C宮城地区は、リサイクルした眼鏡3万個を仙台市青葉区の在仙台カンボジア名誉領事館に贈った。領事館で11月30日に寄贈式があり、協会の渡辺俊弥地区ガバナーが田井進名誉領事に目録を手渡し「子どもの視力低下を防ぐため支援したい」とあいさつ。田井名誉領事は「現地の人から喜ぶ声をもらった」と謝辞を述べた。眼鏡は12カ所の王立病院に贈られる予定。

カンボジアは人口約1700万人に対して眼科医が50人ほどしかおらず、目の健康維持が課題となっている。協会は2021年に寄贈を始め、全国のライオンスクラブや眼鏡販売店から不要な眼鏡や白内障用のサングラスを集めた。

仙台IMA支部認証状伝達式

2023年11月25日(土)/パレスへいあん

この度、仙台青雲ライオンズクラブのご助力のもと、仙台IMA支部が結成いたしました。

去る2023年11月25日 パレスへいあんにて認証状伝達式を無事終えることが出来ました。これはひとえに、仙台青雲ライオンズクラブみなさまのお力添えと心から感謝申し上げます。また、渡邊ガバナーをはじめ、お越しいただきました皆さまから、たくさんの和やかで温かなお気持ちとお言葉を頂戴し、会場内は笑顔にあふれとても楽しいひと時となりました。

支部結成にあたっては、はじめてお声がけを頂いたのが2020年になりますので、約3年の時間がかかってしまいました。コロナ禍で、交流自体に制限が掛かり、対面でお会いすることが難しくなったためです。ただ、その代わり普段ではお会いの出来ないような方々から温かいご支援やお気持ちを頂戴し、必要不可欠な道のりであったと、今改めて感じております。

仙台IMA支部では「今（IMA）こそ未来に繋がろう！」をスローガンに、幅広いアクティビティを通じて、相互理解を深めコミュニケーションの訓練を行い、交流や婚活を通して奉仕活動を行っていきます。更に、様々

な人と接点を持つことで支部メンバーが豊かな人間関係と人生を送れるようお願い活動して参ります。

※IMAと「Interact（交流）+「match（合う）」の造語となっております。

支部メンバーは平均年齢33歳（会長と幹事が平均年齢上げております）と大変若いため、至らぬ点多々あるかと存じますが、焦らず丁寧に進めてまいりますので、温かいご支援とご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

■お知らせ

2023年2月3日、バレンタイン交流会を計画中です。ご興味がある方はぜひ、仙台IMA支部までお問い合わせください。※コミュニケーションワークもごございます。

■幹事から見たクラブ会長

とても明るく、いつも相手の幸せと笑顔を考え行動する方です。会長のそばにいと、幸せが舞い込んできそうな予感がします。お酒が大好き過ぎて、たまに心配です。



栗原若柳LC チャーターナイト 60周年記念式典

2023年11月26日(日)/若柳総合文化センター(ドリーム・パル)

2023年11月26日(日)若柳総合文化センタードリームパルにて栗原市若柳ライオンズクラブ60周年記念式典が開催されました。川嶋保美Lの歓迎の挨拶から始まり千葉節朗会長の挨拶では栗原若柳LCの歴史をお聞きし「我々は奉仕する。」の精神のもと地域に密着した奉仕活動を続けてきたという力強いお話がありました。また記念アクティビティでは子ども教育支援としてライオンズ文庫、栗原市立若柳病院に医療支援として

自動血圧計、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団に子ども自然保護教育支援として観察用三脚付き望遠鏡、子ども食堂NPO法人まるっと栗原に運営費支援を行っておりました。また祝宴では若柳よさこい桜等の素晴らしいアトラクションが披露され、そして「ありがとう栗原よ」を栗原若柳LC全員で合唱し締めくくられました。素晴らしい栗原若柳ライオンズクラブ60周年式典でした。



石巻めぐみ野LC 結成10周年記念式典

2023年11月26日(日)/石巻グランドホテル

初冬の良き日11月26日、石巻グランドホテルにて石巻めぐみ野ライオンズクラブ結成10周年記念式典が、石巻市長齋藤正美様・教育委員会教育長穴戸健悦様・商工会議所会頭青木八洲様をお招きし、また、渡邊ガバナーや歴代ガバナー、姉妹クラブなど総勢135名の参列者により、盛大に執り行われました。石巻めぐみ野LCは東日本大震災後に結成された被災地のクラブで、会長佐々木寿徳ライオン、実行委員長石川達雄名誉顧

問の挨拶から、結成当時の思いが伝わるお話がありました。結成10年の若いクラブではありますが、地域に根差した記念事業として、災害支援事業や子ども食堂支援など5項目の事業が披露されました。祝宴に入り、石巻の美味しい食材を堪能し、アトラクションでも会場が一体となり、たいへん盛り上がりました。式典は厳かに、そして祝宴はとても楽しい、記憶に残る記念式典でした。



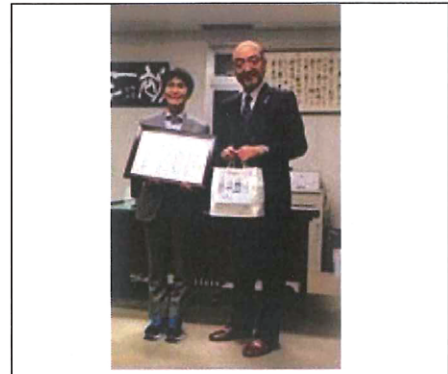
眼鏡寄贈の感謝状をお渡ししました

2023年12月5日(火)/宮城教育大学附属中学校

宮城教育大学附属中学校、小学校、特別支援学校の皆様から視覚保護支援事業を支援していただいたお礼として、感謝状を送らせていただきました。

先日お伺いした在仙台カンボジア王国名誉領事

館からは、カンボジアの子ども達へ送る「子ども用の眼鏡」が特に不足しているとの話があり、継続した支援が待ち望まれています。これから積極的なご協力をお願いしてまいりました。



「眼鏡リサイクル活動」

ライオンズクラブ様より、眼鏡リサイクル事業に協力したことで、表彰状をいただきました。附属四校で、37のリサイクル眼鏡が集まりました。これらをフィリピンやカンボジアの方々に利用してもらいます。引き続き活動しますので、ご協力をお願いします。

宮城教育大学附属中学校が発行する「附中だより 第31号」に記事が掲載されました。



クラブリーダー育成セミナー

2023年12月1日(金)/仙台市戦災復興記念館

12月1日(金)戦災復興記念館にて、ライオンズクラブ公認講師の加藤万寿夫ZC(334-B地区・土岐織部 LC所属)をお迎えし、各クラブで新入会員の指導的な役割を担う、経験豊かな会員向けに『クラブリーダー育成セミナー』を開催致しました。35クラブ、2クラブ支部から65名が参加。当日は参加者の熱気で、暖房がいらぬ程、盛り上がりました。

講師をお引き受け頂いた加藤万寿夫ライオンには、今回の為に、国際協会が推奨する基礎メンタープログラムを基に、内容をゼロから組み立てて頂きました。現在、国内においてメンタープログラムを実施している準地区は有りませんので、なおさら価値のあるセミナーになりました。

クラブを退会する理由の中には『ライオンズクラブの事がよくわからないから』、『メンバー間の人間関係があまり良くない』等々、指導的立場の方は『世代の違う新入会員とどう接して行ったらいいかわからない』等々、ライオンとしての基本的な考え

方を学びあり、コミュニケーションを高めるゲームあり、一つ一つの課題をどう解決していったらいいのか、参加された方々がワークショップの中で意見を出し合い、皆で考える機会になりました。

受講後のアンケートでは、「ライオンズメンバーとしての基本的姿勢がよくわかりましたわかりました」、「メンターとメンティーの意味と役割が勉強になりました」、「こういうセミナーなら何回でもやって欲しい」、「夢中になって、あっという間の時間になりました」など、多くの賛辞があり、受講者が楽しく受講された様子でした。

今回受講されたメンターの皆様、クラブ強化のため、会員育成のため、ご自身の成長のために活かして頂けたら幸いです。

師走のご多忙の折、ご協力頂きましたクラブと、ご参加頂きました会員の皆様へ心より感謝申し上げます。

GMT委員会 委員長 L.新木 経嗣



ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト地区選考会

2023年11月21日(火)/332-C地区キャビネット事務局

2023年11月21日(火)、332-C地区キャビネット事務局において、「ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト332-C地区選考会」が行われ、最優秀ガバナー賞1点、優秀賞2点が決まりました。

国際平和ポスター・コンテストは、毎年テーマが決められており、今年は「夢見る勇気を」というテーマの元、力作が集まりました。渡邊地区ガバナーを中心に、MC・IT推進委員会、ライオンみやぎ委員会のメンバーによって厳正に審査が行われました。

審査の結果、石巻市立青葉中学校の大森康大さんの作品が今年最優秀ガバナー賞に選ばれました。また優秀賞は、石巻市立青葉中学校の藤澤ゆずきさんと、石巻市立桃生中学校の阿部つむぎさんが選ばれました。

今回選ばれた3点の作品は、332複合地区の選考会へと出展されます。受賞された皆様、おめでとうございます。また出展された皆様、ご協力いただきました関係者の皆様、キャビネット関係の皆様、ありがとうございました。



最優秀ガバナー賞

石巻市立青葉中学校
大森 康大 さん



優秀賞

石巻市立青葉中学校
藤澤 ゆずき さん



優秀賞

石巻市立桃生中学校
阿部 つむぎ さん



努力賞

石巻市立山下中学校
小松 凪乃 さん



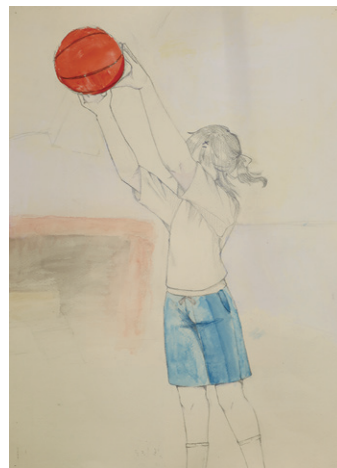
努力賞

NPO 法人キッズドア
古川 禾麻莉 さん



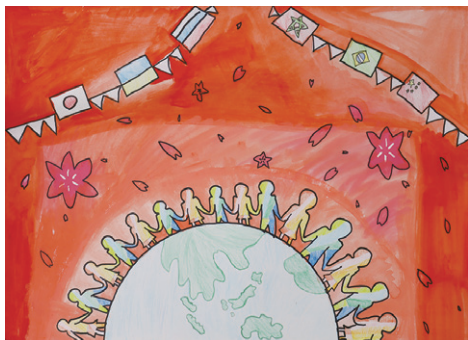
努力賞

涌谷町立月将館小学校
佐々木 碧生 さん



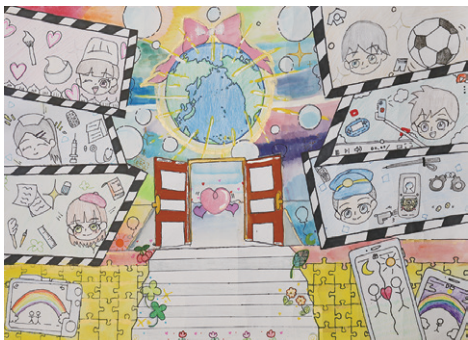
努力賞

涌谷町立麓岳白山小学校
大川 歩美 さん



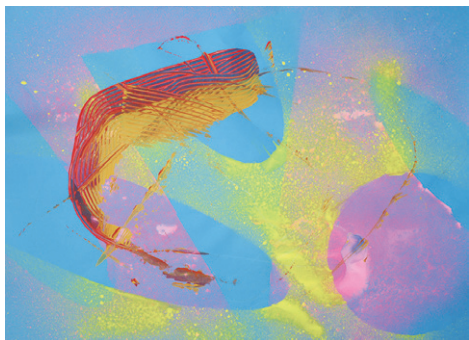
努力賞

石巻市立万石浦小学校
高橋 莉珠菜 さん



努力賞

石巻市立万石浦小学校
岩崎 莉愛 さん



努力賞

宮城県立石巻支援学校中学部
鈴木 一史 さん



努力賞

石巻市立万石浦小学校
及川 暖 さん



努力賞

石巻市立万石浦小学校
勝又 美遥 さん



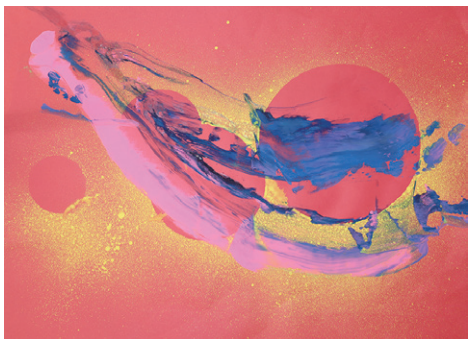
努力賞

石巻市立万石浦小学校
高橋 麻里菜さん



努力賞

石巻市立万石浦小学校
山田 桃々華 さん



努力賞

宮城県立石巻支援学校
高橋 日向 さん



努力賞

仙台市立岡田小学校
齋藤 知歩 さん



努力賞

石巻市立万石浦小学校
小山 楓真 さん



努力賞

石巻市立万石浦小学校
阿部 心音さん